



Hewlett Packard
Enterprise

Intelligent Provisioning 3.30 リリース ノート

部品番号: 881705-195
発行: 2019 年 3 月
版数: 1

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft® および Windows® は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

目次

リリースノート.....	4
説明.....	4
バージョン.....	4
置き換えられるバージョン.....	4
製品モデル.....	4
HPE SMB Setup がサポートするサーバー.....	4
オペレーティングシステムおよびデバイス.....	5
HPE SMB Setup がサポートするオペレーティングシステム.....	10
機能強化.....	11
修正点.....	11
Intelligent Provisioning、SPP、および iLO の間の関係.....	11
インストール手順.....	11
既知の問題と推奨処置.....	11
インストールの問題.....	11
操作上の問題.....	13
ユーザーインターフェイスの問題.....	18
Windows 固有の問題.....	19
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	21

リリースノート

説明

Intelligent Provisioning は、オペレーティングシステムをインストールする、単一サーバー展開ツールです。すべての ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy コンピュートモジュールに内蔵されています。Intelligent Provisioning は、ウィザード形式でオペレーティングシステムに必要なほとんどのドライバーを提供します。

Intelligent Provisioning は、前の世代の ProLiant サーバーで使用されていた SmartStart CD および Smart Update Firmware DVD に代わる機能で、これらの CD/DVD をベースにして改善が加えられています。

Intelligent Provisioning では、以下の世代および関連バージョンをサポートしています。

- ・ Gen8 : 1.x バージョン
- ・ Gen9 : 2.x バージョン
- ・ Gen10 : 3.x バージョン

Intelligent Provisioning には、以前は HPE Rapid Setup Software と呼ばれた HPE SMB Setup も含まれています。HPE SMB Setup を使用すると、RAID を構成したり、オペレーティングシステムをインストールしたり、Intelligent Provisioning アプリケーション全体を起動しなくてもその他のメンテナンスオプションを使用することができます。

このドキュメントでは、サポート情報、拡張機能、および既知の問題と解決方法など、このリリースの Intelligent Provisioning に関する情報を提供します。特定の問題の解決方法については、Intelligent Provisioning ユーザーガイドのトラブルシューティングの章を参照してください。

<http://www.hpe.com/servers/intelligentprovisioning> に Intelligent Provisioning 製品のページがあります。

Intelligent Provisioning のユーザードキュメントは、Information Library (<http://www.hpe.com/info/intelligentprovisioning/docs>) から入手できます。

バージョン

3.30

置き換えられるバージョン

3.21

製品モデル

Intelligent Provisioning の現在のリリースでは、ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy コンピュートモジュールをサポートしています。サポートされているサーバーの完全なリストについては、Intelligent Provisioning Server Support Guide を参照してください。

HPE SMB Setup がサポートするサーバー

HPE SMB Setup は、以下の HPE サーバーをサポートしています。

- ・ HPE ProLiant 10 Gen10 シリーズサーバー
- ・ HPE ProLiant 100 Gen10 シリーズサーバー
- ・ HPE ProLiant 300 Gen10 シリーズサーバー

注記: HPE SMB Setup は、HPE Smart アレイ SR Gen10 コントローラーで使用する場合にサポートされません。HPE Smart アレイ MR Gen10 コントローラーはサポートされていません。

オペレーティングシステムおよびデバイス

Intelligent Provisioning では、次のオペレーティングシステムをインストールできます。

- ・ Microsoft Windows Server 2019
- ・ Microsoft Windows Server 1809 (SAC)
- ・ Microsoft Windows Server 2016
- ・ Microsoft Windows Server 2012 R2
- ・ Microsoft Windows 2016 1803 (SAC)
- ・ Red Hat Enterprise Linux 7.6
- ・ Red Hat Enterprise Linux 7.5
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 15
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3
- ・ vSphere 6.0 Update 3
- ・ vSphere 6.5 Update 2
- ・ vSphere 6.7 Update 1
- ・ ClearOS

注記: Gen10 サーバーでは、ClearOS は <http://www.hpe.com/servers/clearos> からのダウンロードに利用できます。

OS 別にサポートされるモードおよびインストールタイプ

OS	サポートされるモード			インストールタイプ	
	UEFI	レガシー	セキュアブート	自動	手動
Windows Server 2019 1809 (SAC) Standard、Datacenter	X	X	X	X	X
Windows Server 2019 Standard、Datacenter、Hyper-V、および Essentials	X	X	X	X	X
Windows Server 2016 Standard、Datacenter、Hyper-V、および Essentials	X	X	X	X	X
Windows 2016 1803 (SAC)	X	X	X	X	X

表は続く

OS	サポートされるモード			インストールタイプ	
	UEFI	レガシー	セキュアブート	自動	手動
Windows Server 2012 R2 Standard、Datacenter、Foundation、および Hyper-V、Essentials	X	X	X	X	X
Red Hat Enterprise Linux 7.5 64 ビット	X	X	N/A	X	X
Red Hat Enterprise Linux 7.6 64 ビット	X	X	N/A	X	X
SUSE Linux Enterprise Server 15 64 ビット	X	N/A	N/A	X	X
SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3 64 ビット	X	N/A	N/A	X	X
SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4 64 ビット	X	N/A	N/A	X	X
vSphere 6.0 Update 3	X	X	N/A	X	X
vSphere 6.5 Update 2	X	X	N/A	X	X
vSphere 6.7 Update 1	X	X	N/A	X	X
ClearOS	X	N/A	N/A	X	X

注記: Windows Essentials では、Intelligent Provisioning によるネットワークインストールはサポートされていません。

Intelligent Provisioning での使用がサポートされているソースメディアのタイプは、次のとおりです。

DVD インストール方式

OS	自動	手動
Windows Server 2019 1809 (SAC) Standard	X	X
Windows Server 2019 Standard、Datacenter、および Hyper-V	X	X
Windows Server 2019 Essentials	X	X

表は続く

OS	自動	手動
Windows Server 2016 Standard、Datacenter、および Hyper-V	X	X
Windows 2016 1803 (SAC)	X	X
Windows Server 2016 Essentials	X	X
Windows Server 2012 R2 Standard、Datacenter、Hyper-V、Foundation、および Essentials	X	X
Red Hat Enterprise Linux 7.5 64 ビット	X	X
Red Hat Enterprise Linux 7.6 64 ビット	X	X
SUSE Linux Enterprise Server 15 64 ビット	X	X
SUSE Linux Enterprise Server 12.3 64 ビット	X	X
SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4 64 ビット	X	X
vSphere 6.0 Update 3	X	X
vSphere 6.5 Update 2	X	X
vSphere 6.7 Update 1	X	X
ClearOS	X	X

Common Internet File System (CIFS) のインストール方法

OS	自動	手動
Windows Server 2019 1809 (SAC) Standard	X	NA
Windows Server 2019 Standard、Datacenter、および Hyper-V	X	N/A

表は続く

OS	自動	手動
Windows Server 2016 Standard、Datacenter、および Hyper-V	X	N/A
Windows Server 2012 R2 Standard、Datacenter、Foundation、および Hyper-V	X	NA
Windows 2016 1803 (SAC)	X	NA
Red Hat Enterprise Linux 7.5 64 ビット	N/A	NA
Red Hat Enterprise Linux 7.6 64 ビット	NA	N/A
SUSE Linux Enterprise Server 15 64 ビット	X	N/A
SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3 64 ビット	X	NA
SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4 64 ビット	X	N/A
vSphere 6.0 Update 3	X	N/A
vSphere 6.5 Update 2	X	N/A
vSphere 6.7 Update 1	X	N/A

FTP インストール方式

注記: FTP インストールする前に、ISO の内容を展開します。

OS	自動	手動
Red Hat Enterprise Linux 7.5 64 ビット	X	NA
Red Hat Enterprise Linux 7.6 64 ビット	X	N/A
vSphere 6.0 Update 3	X	N/A
vSphere 6.5, Update 2	X	N/A
vSphere 6.7 Update 1	X	N/A

USB インストール方式

OS	自動	手動
Windows Server 2019 Standard、Datacenter、および Hyper-V	X	NA
Windows Essentials 2019 および Windows Essentials 2016	NA	NA
Windows Server 2016 Standard、Hyper-V、および Datacenter	X	N/A
Windows Server 2012 R2 Standard、Datacenter、Foundation、および Hyper-V	X	NA
Windows 2016 1803 (SAC)	X	N/A
Windows Server 2012 R2 Essentials	N/A	N/A
vSphere 6.0 Update 3	X	N/A
vSphere 6.5 Update 2	X	N/A
vSphere 6.7 Update 1	X	N/A

Always On Intelligent Provisioning

OS	サポートされるソースメディア ¹	サポートされるモード			インストールタイプ	
		UEFI	レガシー	セキュアブート	自動	手動
Windows Server 2019 1806 (SAC) Standard、Datacenter	CIFS	X	X	X	X	NA
Windows Server 2019 Standard、Datacenter、および Hyper-V	CIFS	X	X	X	X	N/A
Windows Server 2016 Standard、Datacenter、および Hyper-V	CIFS	X	X	X	X	N/A

表は続く

OS	サポートされるソースメディア ¹	サポートされるモード			インストールタイプ	
		UEFI	レガシー	セキュアブート	自動	手動
Windows Server 2012 R2、Standard、Datacenter、Foundation、および Hyper-V	CIFS	X	X	X	X	NA
Windows 2016 1803 (SAC)	CIFS	X	X	X	X	N/A
Red Hat Enterprise Linux 7.5 x64 ビット	FTP	X	X	N/A	X	NA
Red Hat Enterprise Linux 7.6 x64 ビット	FTP	X	X	N/A	X	N/A
SUSE Linux Enterprise Server 15 64 ビット	CIFS	X	N/A	N/A	X	N/A
SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3 64 ビット	CIFS	X	N/A	N/A	X	NA
SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4 64 ビット	CIFS	X	N/A	N/A	X	N/A
vSphere 6.0 Update 3	CIFS/FTP	X	X	N/A	X	N/A
vSphere 6.5 Update 2	CIFS/FTP	X	X	N/A	X	N/A
vSphere 6.7 Update 1	CIFS/FTP	X	X	N/A	X	NA

¹ : 仮想メディアソースからすべてのオペレーティングシステムをインストールできます。

StoreVirtual VSA のサポート

Intelligent Provisioning 3.00 以降は StoreVirtual VSA をサポートしません。

サポートされるサーバー、ファームウェア、ソフトウェア、およびドライバーバージョンについては、Intelligent Provisioning Information Library (<http://www.hpe.com/info/intelligentprovisioning/docs>) で入手できる Intelligent Provisioning Server Support Guide を参照してください。

HPE SMB Setup がサポートするオペレーティングシステム

HPE SMB Setup は、サーバーでサポートされているオペレーティングシステムをインストールできます。各サーバーでサポートされているオペレーティングシステムについては、<http://www.hpe.com/servers/ossupport> を参照してください。

HPE SMB Setup は、RedHat または SUSE Linux オペレーティングシステムのインストールをサポートしていません。サポートされている Linux オペレーティングシステムをインストールする場合は、Intelligent Provisioning を起動します。

機能強化

- ・ One-button セキュア消去機能を追加しました。
- ・ 以前は HPE Rapid Setup Software と呼ばれた HPE SMB Setup を追加しました。
- ・ 仮想メディアからの OS のインストールをサポートしました。
- ・ バグの修正

修正点

Windows を S100i に展開して SSA で使用するためのサポートを追加しました。

Intelligent Provisioning、SPP、および iLO の間の関係

Intelligent Provisioning のバージョン	SPP リリースセット	iLO のバージョン
Intelligent Provisioning 3.30	SPP v2019.03.0	iLO 5, v1.40

インストール手順

ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy コンピュートモジュールには、ファームウェアコンポーネントとオペレーティングシステムコンポーネントの基本的なセットがプリロードされています。これらのコンポーネントは、Intelligent Provisioning とともにインストールされます。一旦サーバーを稼働させた後は、Intelligent Provisioning のファームウェアの更新を使用して、サーバーを製造してからすでに古くなったコンポーネントをアップデートしてください。使用可能なアップデートを Intelligent Provisioning が確認できるように、ポート 443 を開いて SSL 通信を許可します。

注記: ファームウェア更新を使用する場合は、コンポーネントのインストールされているバージョンが利用可能なバージョンより新しいことを確認してください。

アップデート方法については、Intelligent Provisioning ユーザーガイドを参照してください。Intelligent Provisioning の Web サイト (<http://www.hpe.com/servers/intelligentprovisioning>) から最新の Intelligent Provisioning の ISO をダウンロードできます。

既知の問題と推奨処置

このドキュメントに記載されている解決方法を適用することをおすすめします。誤った操作を行うと、ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy コンピュートモジュールの操作と機能が正常に動作しなくなることがあります。

以下のリストは、新しい問題が発見されるか、既知の問題が解決されると更新されます。

- ・ [インストールの問題](#)(11 ページ)
- ・ [操作上の問題](#)(13 ページ)
- ・ [ユーザーインターフェイスの問題](#)(18 ページ)
- ・ [Windows 固有の問題](#)(19 ページ)

インストールの問題

FIPS または高セキュリティモードでアップデートできない

症状

FIPS または CNSA などの高セキュリティモードで Intelligent Provisioning をアップデートすると、点滅エラーが発生する。

原因

高セキュリティモードは現在サポートされていません。

レガシー BIOS モードの自動インストールがタイムアウトする

症状

レガシー BIOS モードで自動インストールが完了しない。

原因

HDD がブート順序で最初の選択肢になっていません。

アクション

1. プレインストールが完了したら、**再起動** をクリックし、iLO にログオンします。
2. ナビゲーションペインで**管理** を選択します。
3. **ブート順序 > サーバードライブ順序** を選択し、HDD をブート順序の先頭に設定します。
4. **適用** をクリックします。

オペレーティングシステムはハードディスクドライブから起動し、自動インストールが通常どおり進行します。

マルチコントローラーセットアップでオペレーティングシステムをインストールできない

症状

Intelligent Provisioning をインストールし、以下の手順（例のみ）の実行後、インストールが終了しない。

1. BIOS/プラットフォームの構成（RBSU）でコントローラーを有効にする。
2. **F10** をクリックして、初期セットアップウィザードで手順を実行する。
3. **メンテナンスの実行 > RAID 構成** を選択し、サーバー内の他のコントローラーの論理ドライブを作成する。
4. 他のコントローラーを選択して、Windows のインストールを進める。
5. サーバーを再起動すると、インストールプロセスが停止し次のメッセージが表示される。

Set up was unable to create a new partition or locate an existing system partition. (セットアップでは、パーティションを新規作成できないか、既存のシステムパーティションが見つかりませんでした。) 詳細についてはセットアップのログファイルを参照してください。

原因

コントローラーに接続しているドライブに古い OS ファイルが存在します。

アクション

ドライブから古い OS ファイルを削除するには、Scripting Toolkit を使用します。詳しくは、Scripting Toolkit ユーザーガイドを参照してください。

HPE InfiniBand アダプターでの Linux オペレーティングシステムのネットワークインストールに失敗する

症状

HPE InfiniBand アダプターで Linux のネットワークインストールを完了できない。

アクション

ローカルインストールを実行します。

VMware 自動 DVD インストールが従来の手動インストールとして開始する

症状

VMware 自動インストールが、レガシーモードで手動インストールとして開始する。

アクション

VMware をインストールする場合は、手動インストールを使用します。

操作上の問題

Intelligent Provisioning 環境設定にタイムゾーンの変更が表示されない

症状

UEFI システムユーティリティを使用したシステム BIOS のタイムゾーンの詳細の変更が、Intelligent Provisioning 環境設定に表示されない。

原因

UEFI システムユーティリティを使用してタイムゾーンの日付と時刻を設定すると、変更は、BIOS にのみ適用され、OS または iLO には適用されません。

BIOS、OS、および iLO のタイムゾーンの日付と時刻を設定するには、UEFI システムユーティリティではなく、Intelligent Provisioning 環境設定を使用します。

アクション

1. **メンテナンスの実行 > Intelligent Provisioning 環境設定**の順に選択します。
2. 表示されている日付または時刻をクリックします。
3. 表示されているカレンダーまたはクロックを使用して、新しい値を選択します。
4. タイムゾーンが初期セットアップ中に iLO で正しく設定されていない場合や、システム機能に影響を与える場合は、iLO Web インターフェイスでリセットします。

詳しくは、Intelligent Provisioning ユーザーガイド（HPE ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy 向け）を参照してください。

FIPS モードの使用時に Intelligent Provisioning が起動しない

症状

iLO で FIPS モードを使用しているときに、F10 モードで Intelligent Provisioning を起動できない。

原因

FIPS モードを使用しているときには、F10 モードの Intelligent Provisioning はサポートされません。

ファームウェアアップデートが応答を停止する場合がある

症状

ドライバーがロールバック画面に表示される。

原因

ファームウェアのジョブが中断された。

アクション

1. Scripting Toolkit (STK) の RESTful インターフェイスツールを使用して **iLOREST** を実行するか、手動でタスクをクリアします。
2. REST データをリセットするには、以下のコマンドを実行します。このコマンドを実行すると、すべての BIOS と Intelligent Provisioning の設定とタスクがデフォルトにリセットされます。

```
ilorest clearrestapistate -u username -p password -url=xx.xx.xx.xx
```

ファーストタイムウィザードのワークロードプロファイルの変更内容が RBSU 画面に表示されない

症状

RBSU 画面を表示すると、ファーストタイムウィザードでのワークロードプロファイルの選択内容と一致していない。

アクション

1. Intelligent Provisioning を起動します。
2. **メンテナンスの実行 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ワークロードプロファイル**の順に選択します。
3. プロファイルを選択して、選択内容を保存します。

ファームウェアアップデートが Synergy システムを更新しない

症状

Intelligent Provisioning が Synergy システムにアップデートを展開しない。

アクション

Synergy システムにアップデートを展開するには、HPE OneView を使用します。

カスタム URL オプションを追加した Intelligent Provisioning のアップデートが、ファームウェアアップデートユーティリティを使用した場合の期待どおりに行われない

症状

カスタム URL を追加したら、Intelligent Provisioning アップデートユーティリティを使用して Intelligent Provisioning をアップデートできなくなった。

アクション

アップデートを展開するには、**hpe.com** オプションを使用します。

システムがセキュア NAND 消去中に応答していないように見えることがある

症状

一部のマルチプロセッサシステムで、システムがセキュア NAND 消去中に応答していないように見えることがある。割り当てられている時間内プロセスは完了するが、インターフェイスで完了の表示が更新されない。

アクション

示された時間が経過したら、安全にシステムのプラグを抜いてリセットおよび再起動できます。次回 F10 を起動したとき、初期セットアップウィザードが表示され、プロセスが完了したことが示されます。

システムの消去およびリセットでブートモードがリセットされない

症状

すべての Intelligent Provisioning 環境設定をクリアした後、ブートモードがデフォルトの UEFI 最適化に設定されない。

原因

Intelligent Provisioning 環境設定をクリアしても、Intelligent Provisioning 設定しかリセットされません。

アクション

1. 手動でブートモードを UEFI 最適化ブートに設定します。
 - a. システムユーティリティ画面から、システム構成 > BIOS/プラットフォームの構成 (RBSU) > ブートオプション > UEFI 最適化ブートを選択します。
 - b. 有効を選択します。

- c. 設定を保存します。
- d. サーバーを再起動します。

iLO AHS ログと Intelligent Provisioning AHS ログのサイズが一致しない

症状

インストール後、iLO ページの AHS ログのサイズと Intelligent Provisioning の AHS ログユーティリティのログのサイズが一致しない。AHS ログユーティリティから得られたログのサイズが、iLO ページから収集されたログのサイズより小さい。

アクション

正しいログサイズの AHS ログは iLO ページから抽出してください。

AHS USB 選択リストが正しくない

症状

AHS ログファイルをダウンロードする方法を決定するときに、USB-SDD1 や USB-SDD2 などの正しくない USB の選択肢が表示される。

アクション

正しくない USB の選択肢を無視して、ダウンロードする USB キーを選択します。USB の選択肢は将来のリリースで修正されます。

PCIe デバイス構成オプションが正しく表示されない

症状

メンテナンスの実行 > BIOS 構成 (RBSU) > PCIe デバイス構成でオプションが正しく表示されない。代わりに、スロット名だけが表示される。

アクション

メンテナンスの実行 > BIOS 構成 (RBSU) にアクセスすると、左ナビゲーションペインでオプションを使用できます。

システムソフトウェアアップデートデリバリオプションを入力していないのに次へボタンが有効になる

症状

初期セットアップウィザードで EULA を受け入れた後、システムソフトウェアアップデートでカスタム URL からアップデートを選択した場合、カスタム URL を入力せずに続行できる。

原因

次へボタンは有効であってはなりません。これは今後のリリースで修正される予定です。

アクション

カスタム URL からアップデートすることにした場合、ソフトウェアアップデートのダウンロード元の Web サイトを指定し、次へをクリックします。

Ethernet ポートが不明なネットワークアダプターとしてリストされる

症状

HPE Ethernet 10 Gb 2 ポート 562SFP+、または 563i アダプターの Ethernet ポートのいずれかが、Intelligent Provisioning 環境設定ページで、Unknown network adapter (不明なネットワークアダプター) と表示される。

アクション

もう一方の有効なポートを使用します。複数のポートが必要な場合は、別のアダプターを使用します。

一部の NIC が不明なネットワークアダプターと表示される

症状

Intelligent Provisioning 環境設定 > アップデートとインストール用のネットワークインターフェイスを選択してくださいで一部の NIC が不明なネットワークアダプターと表示される。

原因

これは既知の問題であり、将来のリリースで修正されます。

管理者パスワードと電源オンパスワードの設定が期待どおりに動作しない

症状

Intelligent Provisioning の RBSU メニューからの管理者パスワードと電源オンパスワードの設定が、期待どおりに動作しない。

原因

これらのオプションは、このバージョンの Intelligent Provisioning から削除されました。

アクション

F9 RBSU メニューを使用して、これらのオプションを設定します。

Always On Intelligent Provisioning の言語が一致していない

症状

iLO Web インターフェイスで選択した言語と同一の言語が Always On Intelligent Provisioning で表示されない。

アクション

Always On Intelligent Provisioning アプリケーションから言語を選択します。

レガシーブートで動作する AMD システムで F10 Intelligent Provisioning のプロンプトが無効になっている

症状

F10 Intelligent Provisioning が POST 画面で無効になっている。

原因

Intelligent Provisioning は、レガシーブートモードまたは最適化ブートを使用して ROM 1.40 以降で動作する AMD システムはサポートされなくなりました。これは今後のリリースで修正される場合があります。

アクション

1. アクションは必要ありません。 Intelligent Provisioning は設計どおりに動作しています。次のいずれかを実行します。
 - ・ Intelligent Provisioning を使用するには、システムを UEFI ブートモードに変更します。
 - ・ HPE Smart Storage Administrator を使用するには、SPP で起動します。

ユーザーインターフェイスの問題

ローカライズされた画面に英語の内容が含まれる

症状

ローカライズされた画面に英語の内容が含まれることがある。

アクション

処置は不要です。機能には影響しません。

特定の UI 項目は表示されるはずだが、欠落しているか正確でない

症状

メンテナンスの実行 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) の下で、以下の項目が欠落しているか正確でない。

- ・ サーバーセキュリティ > Trusted Platform Module オプション。オプションの数が、UEFI システムユーティリティに示された数と同じではない。
- ・ メモリオプション > 不揮発性メモリオプションが表示されない。
- ・ 電力およびパフォーマンス > I/O オプション。非ポストプリフェッチオプションが欠落している。
- ・ システムデフォルトオプション > デフォルトの UEFI デバイス優先順位。情報が表示されない。
- ・ ブートオプション。レガシー BIOS ブート順序オプション上に取り消し線が表示される。メモリオプションの下で、メモリの再マップ情報が欠落している。

注記: システムユーティリティ画面で、**システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ブートオプション**を選択すると、メモリの再マップ情報を利用できます。

- ・ **アドバンストオプション。** 余分なビデオオプションフィールドが表示される。ビデオオプションフィールドは、UEFI システムユーティリティでは表示されない。

原因

これらの UI 項目は既知の問題であり、将来のリリースで修正されます。

アクション

1. 欠落情報を表示するには、サーバーを再起動し、プロンプトが表示されたら、**F9** キーを押して UEFI システムユーティリティにアクセスします。
2. システムユーティリティ画面で、**システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU)** を選択します。詳しくは、UEFI システムユーティリティユーザーガイドを参照してください。

Always On モードで MAC アドレスまたは接続ステータスが表示されない

症状

Intelligent Provisioning の Always On モードで、MAC アドレスまたは接続ステータスが表示されない。

アクション

Always On Intelligent Provisioning ではなく、F10 コンソールを使用してネットワークを構成します。

SUSE Linux Enterprise Server 15 の自動インストールの結果、ユーザーインターフェイスが表示されない

症状

Intelligent Provisioning 3.21 を通じた SUSE Linux Enterprise Server 15 のインストールの結果、ユーザーインターフェイスが表示されない。

原因

自動インストールはインストーラーメディアだけを使用します (Base OS だけがインストールされます)。

アクション

IP を通じて Linux Enterprise Server 15 の手動インストールを実行し、プロンプトが表示されたら、完全なユーザーインターフェイスにインストーラーとパッケージメディアの両方を使用します。

Windows 固有の問題

Windows をインストールできない

症状

Windows Server 2012 R2 または Windows Server 2016 のインストールがタイムアウトやその他のエラーになる。

原因

次の場合、Windows にインストールしようとするときタイムアウトになる可能性があります。

1. RAID 1 として 2 台のドライブを構成していた。
2. Linux をインストールした。
3. ドライブを削除した。
4. 1 台のドライブを RAID 0 として構成したが、他のドライブを未割り当てのままにした。

アクション

Microsoft DiskPart ユーティリティを使用して古い Windows ファイルを削除して、パーティションをクリアします。詳しくは、Scripting Toolkit for Windows User Guide を参照してください。

Always On Intelligent Provisioning から目的の Windows オペレーティングシステムをインストールできない

症状

Always On Intelligent Provisioning からインストールする Windows のバージョンを選択できない。

アクション

サーバーを再起動して、**F10 Intelligent Provisioning** を起動します。

Windows のインストール時に無人エラーメッセージが表示される

症状

Windows のインストール時に次のメッセージが表示される。

```
Windows could not parse or process unattended answer file [C:\Windows\filename\nunattend.xml] for pass [specialize]. The answer file is invalid.
```

原因

使用しているメディアが、Windows のスリップストリームコピーです。

アクション

正式な Microsoft または HPE ブランドのメディアだけがサポートされています。

自動インストール後、サーバーで Agentless Management Service (AMS) が起動できない

症状

Windows をインストールした後、ProLiant Gen10 で AMS が起動できない。

アクション

- ・ AMS をインストールする前に、 iLO 5 Channel Interface Driver をインストールします。
- ・ Microsoft API「AddPdhCounter」の問題を解決したアップデートを含んだすべての Microsoft アップデートを適用します。AMSに必要なMicrosoftアップデートについては、AMSのリリースノートを参照してください。

Windows Server 2016 ISO での IP Express の自動インストールが BL460c Gen10 サーバーで完了しない

症状

HPE Proliant Gen 10 サーバーで HPE Intelligent Provisioning v3.20 を使用して、HPE Smart アレイ P204-b SR Gen10 コントローラー（または他の Smart アレイ P シリーズ SR Gen10 コントローラー）上でブートボリュームとして構成されている論理ドライブ（RAID 0 または RAID 1 アレイの SAS/SATA または SATA SSD ハードディスクドライブ）への Microsoft Windows Server 2016 ISO の高速自動インストールを実行すると、失敗し次の Windows セットアップエラーが表示される。

```
"x - Windows could not parse or process unattend answer file [C:\Windows  
\Panther\unattend.xml] for pass [specialize]. The answer file is invalid"
```

この問題は、HPE Intelligent Provisioning を使用して次の Microsoft Windows Server 2016 Retail/Volume License ISO の高速自動インストールを実行するときに、上記の内部ストレージ構成で UEFI ブートモードで実行している HPE Proliant BL460c Gen10 および DL560 Gen10 サーバーで起きることがわかっています。

- ・ en_windows_server_2016_x64_dvd_9718492.iso
- ・ SW_DVD9_Win_Svr_STD_Core_and_DataCtr_Core_2016_64Bit_English_-3_MLF_X21-30350.ISO

Intelligent Provisioning 3.21 以降で Intelligent Provisioning の以前のバージョンの IP をフラッシュできない

症状

最新の ROM、iLO でサーバーをインストールした後は、Intelligent Provisioning の以前のバージョンをフラッシュする試みは失敗し、次のメッセージが表示される。

```
"Error flashing the NVRAM"
```

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00062089en_us を参照してください。

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。